

1. 件 名：訓練報告会の準備状況の確認に関する打ち合わせ

2. 日 時：令和3年7月16日 13:30~14:50

3. 場 所：原子力規制庁 3階会議卓

4. 出席者

原子力規制庁 緊急事案対策室

川崎企画調整官、平野室長補佐

東京電力ホールディングス株式会社

原子力運営管理部 防災安全グループマネージャー

原子力エネルギー協議会

副長

(以下、テレビ会議システムによる出席)

原子力規制庁 緊急事案対策室

宮地防災専門官

北海道電力株式会社

泊発電所 防災安全対策室 副長 他2名

東北電力株式会社

原子力部 課長(原子力防災担当) 他1名

東京電力ホールディングス株式会社

原子力運営管理部 課長 他3名

中部電力株式会社

原子力部 防災・核物質防護グループ 課長 他3名

北陸電力株式会社

原子力本部 原子力部 原子力防災チーム 統括(課長) 他1名

関西電力株式会社

安全・防災グループ チーフマネージャー 他3名

中国電力株式会社

電源事業本部(原子力運営グループ) 副長

四国電力株式会社

原子力本部 管理グループ 副リーダー 他1名

九州電力株式会社

原子力発電本部原子力防災グループ グループ長 他3名

日本原子力発電株式会社

発電管理室警備・防災グループ 課長 他1名

## 5. 要 旨

事業者から、次回の訓練報告会の議題として予定している令和2年度訓練結果のうち緊急時対応能力の強化に向けた取り組みやオフサイトセンターでの訓練結果、訓練シナリオ開発ワーキンググループの訓練結果のとりまとめ等について、資料の準備状況の説明があった。

原子力規制庁より、訓練報告会において、事業者防災訓練の実効性をより向上するための取り組みについての意見交換を実施したいこと、訓練報告会資料について、主に以下の事項に対応することを伝えた。

- ・ 緊急時対応能力の強化に向けた取り組み等において、改善に向けた取り組みとして実施したピアレビューについて、事業者間の協力活動が改善に繋がった具体例（グッドプラクティスの事例など）を示すこと
- ・ 訓練シナリオ開発ワーキンググループの訓練結果において、令和2年度シナリオの訓練結果を追加すること

事業者から、本日の面談を踏まえ、対応する旨回答があった。

## 6. その他

配付資料：

- 資料 1 緊急時対応能力の強化に向けた取り組みについて（関西電力株式会社）
- 資料 2 2020年度泊発電所原子力事業者防災訓練後の取り組みについて（北海道電力株式会社）
- 資料 3 2020年度柏崎刈羽原子力発電所原子力事業者防災訓練後の取り組みについて（東京電力ホールディングス株式会社）
- 資料 4 浜岡原子力発電所緊急時演習におけるオフサイトセンターでの訓練（中部電力株式会社）
- 資料 5 訓練シナリオ開発ワーキンググループ